



新里中だより

期末テストも終わり、1学期も残りあと3週間となりました。夏休みに向けて、もう一度自分自身の生活を振り返り、身を引き締めて過ごしましょう。

(文責)校長 阿久津 泰

2年生 田植え

～ 立春式に向けて ～

6月24日(火)、2年生は学校の南にある田んぼで田植えを行いました。この行事は新里中の伝統行事であり、25年以上も続いています。2月3日(火)に行われる立春式を祝う赤飯用の餅米を自分たちで植え、秋には刈り取ります。

当日は、地元農家の小池英俊さん・寛明さん父子にご指導していただきました。水を張った田んぼに直面した2年生たちは、最初は戸惑っていましたが、いざ田植えが始まると、隣の生徒と植え方や位置を確認しながら、集中して苗を植える姿が見られました。秋には豊かに実った稲を刈り取れることを祈っています。



6月23日(月)の全校集会より

6月23日(月)の全校集会において、生徒たちに、今を咲き誇る「紫陽花」の話をしていただきました。紫陽花の花の色は、土の養分によって決まるそうです。酸性が強ければ青系、アルカリ性が強ければ赤系になりますが、その土地の性質に合わせて、自分なりの美しい花を咲かせるのが紫陽花の特徴です。「環境に文句を言うのではなく、その環境でどう花を咲かせるか、自分が赤く咲くのか青く咲くのか、それは自分が置かれた場所を受け入れ、向き合ってきた結果なんだ。」という紫陽花からのメッセージを想像し、伝えました。

生徒たちは、これからの時代の主役になります。マイナスをプラスに捉える力を身に付けて、どんな環境下においても最大限の力を発揮できる人に育ってほしいと思います。

